

# stories

広報 かわねほんちょう

「ガンダムの白と黒のボーン」

徳山自然観察公園ときどんの池に遊びに来ていた中村竜斗くん、郁哉くん兄弟



2009

7

No.45

特集

## 地域への愛着心

荒廃農地を再生し、住民憩いの場を創造した徳山区に見る地域愛着心

# 特集 地域への愛着心

荒廃農地を再生し、住民憩いの場を創造した徳山区に見る地域愛着心

この地はかつて、人の背丈ほどもある草が一面に生い茂る湿地帯だった。  
「住民が集い憩う場」を創造しようとした地域住民の情熱は、  
4年という歳月をかけて、ここに水と緑があふれる公園をつくり上げた。  
週末には子どもたちの元気な声が響き、池のほたりでは親子連れが微笑み合う。  
毎日のようにグラウンドゴルフを楽しむ人たちがいる。  
公園の誕生から9年が過ぎた今も、美しい景観はそのままに、  
新たなアイデアで成長を続ける、完成しない公園「ときどんの池」。  
「自分たちの地域は、自分たちでつくり上げよう」と、  
地域住民が一丸となって取り組んだ、一つの歴史。一つの誇り。

本号特集では、地域づくりに情熱を燃やした人々の、そんな物語をのぞいてみる。



大井川鐵道駿河徳山駅から徒歩3分ほどのところにある「徳山自然観察公園ときどんの池」。元々は放棄水田跡地（湿地帯）だった場所だ。今では池に鯉が優雅に泳ぎ、そのかわらに水車が回る。池には木製の遊歩道が設置され、池の上を散策できる。池のほたりには東屋（休憩所）も整備され、散歩途中に立ち寄る人も多い。ホタルの保護活動、グラウンドゴルフ場、炭焼き小屋、ブルーベリー園など多角的な取り組みは、すべて地域住民の発案、地域住民の手によるものだ。



わたしはこの地に恩を感じていた  
 荒廃した水田を活用して、区民全員が  
 集い憩う場所をつくりたかった

【第1章】

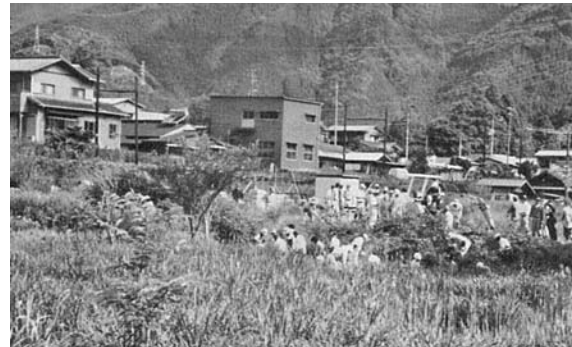
# 地域を再生する

荒れた水田を再生し、住民が集い憩う場所をつくろう  
 公園整備に着手した当時を、鈴木俊三さんが振り返る

池には水車が回り、鯉や川魚がゆうゆうと泳いでいる。池の周りにはギンショウズの花が咲き誇る。公園横の小川にはカモが愛らしい姿を見せ、訪問者の心を和ませる。ここが元々は、荒れた水田だったとはとても思えない。

掘り作業。120人もの住民が参加して、水辺環境の改善に取り組んだ。ぬかるんだ池の底には、廃屋の板材などを敷いて補強した。池の周りを周遊できる遊歩道を設置した。一休みできる東屋も自分たちで建てた。池の横には残土処理場を兼ねたグラウンドゴルフ場も整備した。4年がかりの人海戦術。地域全体を巻き込み、多くの人の手で公園は形

公園整備当時、ここは人の背丈ほどもある草で覆われた湿地帯だった。120人もの地域住民が参加して公園整備は始まった。



ときどんの池は、元々は荒れた田んぼだった

この自然観察公園ときどんの池一帯は、元々は水田だった場所。終戦後まで稲作がされていた土地だ。

「この土地に稲作がされていたところは、景観も環境も保たれていました。ホテルが無数に舞う美しい場所でした。しかし国の減反政策の影響で水田は放棄され、人の手が入らなくなりました。やがて美しかった景観は、どんどん荒廃し、草が生い茂る湿地帯へと変わっていったんです」と鈴木俊三さんは当時をふり返る。

づくられていった。

「地区の皆さんの力がなければ、絶対ここまでやれなかったと思います。この公園には、地域の力、地域住民の思いが詰まっています。自分たちが暮らす地域だから、自分たちの手で良くしたい。困難なことにもあきらめず、団結して乗り越えていく。ここはその象徴であり、誇りです」と俊三さんは言う。

地域に愛される公園は、地域の力の結晶

平成12年5月2日、親水池の整備が完了。公園は一つの形を成した。あの日から9年。今では、夕暮れどきに散歩途

地元徳山で建設会社に務めていた俊三さん。荒れていく水田を寂しい気持ちで見守っていた住民の一人だ。

「わたしはこの徳山で、地区の皆さんに大変お世話になりました。この地に大きな恩を感じていました。いつかこの恩を返すことができたらずっと思っていました」。

公園整備の計画が持ち上がった

そんな俊三さんのところに平成9年、当時徳山区長を務めていた橋本務さんから、公園整備の計画が舞い込んだ。「橋本さんから『水田跡地に公園を整備して、地域住民の憩いの場所をつくろう。ホテルが舞う景観を取り戻そう。俊三君に建設部門の中心を担ってほしい』と言われました。わたしはそのとき、これでこの徳山に貢献できる、恩返しができると考え、即座に『協力します』と、橋本さんに約束したんです」。

公園建設計画は区の役員会で承認され、具体的に整備がスタートした。まず手がけたのが水田跡地の草刈り・井戸

中の親子が、池の周りを散策しながら鯉を見て微笑み合う子どもたちがザリガニを捕り歓声を上げる。グラウンドゴルフ場には毎日のようにプレイする仲間たちがいる。そんな住民憩いの場になった。

念願だったホテルの保護飼育も進んでいる。飼育グループが中心となり、研究を重ねてきた。平成12年からは幼虫の放流を開始。少しずつ、幻想的な光が戻り始めている。

当時草が生い茂り、人が寄りつかなかった土地。今では、地域になくならない場所に成長した。住民が必要とし、住民の手でつくり上げた、徳山区のシンボルの一つだ。



ときどんの池 建設部門を担当した  
 鈴木俊三さん（徳山）

# 地域住民の力の結晶

## ときどんの池 自慢の施設・景観群

広大な湿地帯を、4年がかりで整備した「徳山自然観察公園ときどんの池」。

この公園を整備するにあたって、一番の目玉と考えたのが「水辺環境」。井戸や水路を整備し、池に水を引き、生物が棲む環境を目指した。池には鯉や川魚を放ち、周囲には木製の東屋、水車、遊歩道を整備した。特に水車は、製作に3カ月を要した自慢の一品。各施設とも、ほとんどの部材は地元で調達。経費を抑えた。



1 水車・遊歩道・東屋

### 2 ホタルの飼育

いずれは昔のようにホタルが舞う光景を取り戻したいと、ホタルの飼育・保護を進めている。「ときどんの池ホタルを育成する会」を結成して約10年、全国のホタル保護先進地に向いて話を聞き、飼育に適した環境について研究を重ねてきた。現在では、池の周りや公園横の小川にホタルの姿が戻りつつある。公園脇にはホタル飼育用のハウスを整備し、ホタルの定着を

### 3 グラウンドゴルフ場

池の横には残土処理場を兼ねた芝のグラウンドゴルフ場を整備。休日平日を問わず、地区の大人たちが集い、楽しそうにプレイする姿がある。地元の小学校がグラウンドゴルフ体験に訪れることも。

### 4 炭焼き小屋

池を浄化するための炭を



藤棚の整備

3 グラウンドゴルフ場



2 ホタルの飼育ハウス

5 ブルーベリー園

### 6 キシヨウブの群生

昔、田んぼのあぜ道に咲いていたキシヨウブの花は、現在では、池のほとり一面に咲き誇る一大群生地となった。公園の脇を走る大井川鐵道のSLと、キシヨウブの群生は、この自慢の景観の一つ。5月中旬ごろになると町内外はもとより、他県からもアマチュアカメラマンが訪れ、カメラ



6 キシヨウブの群生



アイガモの飼育

焼こうとしたのが発端で、炭焼き小屋を整備した。ここは年6回、小学校の課外授業にも活用され、児童たちが炭焼きを体験している。

### 5 ブルーベリー園

園の入口に設置された料



週末には必ずと言っていいほど子ども姿がある公園です。管理する方も張り合いです。

川本孝さん (炭焼き小屋担当)

わたしは主に、ときどんの池の「炭焼き小屋」の管理を任されていました。木炭は、水を浄化する作用があることから、ここで炭焼きを始めようという話になったんです。

この炭焼き小屋は、地元の小学校の課外授業にも使われています。わたしが講師となって、子どもたちに教えていたんですよ。今では地区の若い人たちが、講師を務めています。

このときどんの池は、週末には必ずと言っていいほど子どもたちの元気な姿があります。地区内外からもたくさんの方が訪れてくれ、とてもうれしく思っています。管理するわたしたちも張り合いがあるというものです。



4 炭焼き小屋

### 第9回ふるさと山村フォトコンテスト優秀賞受賞 (平成12年)

徳山区では、国土庁(現国土交通省)が主催する、美しい地域景観を撮影したフォトコンテストに、ときどんの池の風景写真を応募。厳正な審査の結果、応募994作品の中から、見事優秀賞(20作品)に選ばれた。

特集  
地域への愛着心

荒廃農地を再生し、住民憩いの場を創造した徳山区に見る地域愛着心



1 桜の枝を剪定する山下忠之さん 2 池の周りで草刈り作業 3 1時間ほど作業して休憩時間。東屋の中は参加者同士の社交の場だ 4 刈った後の草や枝をトラックへ。ここまでやって作業はようやく終了となる



雨の中、黙々と作業を続ける参加者。対象は地区の全世帯だ。自分が暮らす地域の大切な場所だから、自分たちの手で美しく保ちたい。どの参加者からも、そんな気持ちを感じ取れた。

【第2章】

# 地域を育成する

ときどんの池を核として、地域が育つ、人の心も育つ  
地区全世帯対象の美化活動・ホテル鑑賞会に密着した

## 雨の中で始められた環境美化活動5・23日

5月23日土曜日、朝8時。30分前から降り出した雨は、一向にやむ気配がない。しかしこの雨の中、自然観察公園とときどんの池の周りには地区の人たちが大勢集まり、草刈りや桜の枝払いなどの作業が既に始められていた。ときどんの池環境美化ボランティア活動だ。

「毎回、多くの区民に参加してもらっています。区の皆さんは、呼びかければ積極的に動いてくれますから、本当に助かります。ありがたいことです」と話すのは徳山区長の澤口浩忠さん。参加者が休憩時に飲むお茶や弁当を手配し、ここまで配達していた。

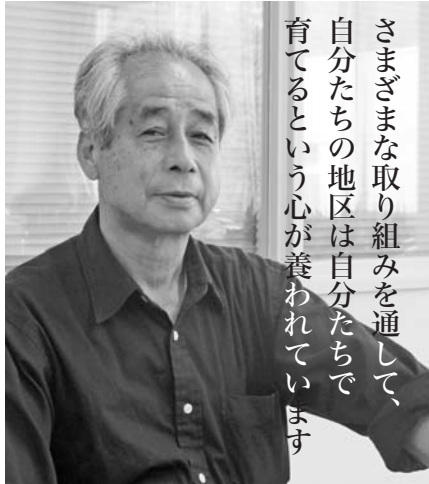
この日の参加者は、区役員4人を含む約30人。ある人は草刈り機で公園周囲や線路脇の草刈り。ある人は、池のほとりのキシヨウブ周辺の草取り。ある人は桜並木の余分な枝の剪定。時おり激しくなる雨の中、カップを着た参加者たちは、無駄口をたたくこと

もなく、黙々と作業を続けていた。訪れた人が快適な時間を過ごしてほしい。参加者の一人川本孝さんが「おい、この水車は一度点検する必要があるそうだなあ」と呼びかけた。「一度別の機会に水を止めて、点検してみようか」と、鈴木俊三さんが答えていた。



愛着がある場所だから、自分たちの手できれいにしたい  
西原弘さん 堀井真恵さん

わたしたちはときどんの池グラウンドゴルフ場で、毎日のようにプレイしています。ここに来ない日は身体が何となくおかしく感じるほど、ここが好きなんです。自分たちが集い楽しむ場所だから、自分たちの手できれいにしたい。ずっと大切に使用したいし、みんな愛着があります。ここに集まることが、外出するきっかけにもなっています。実際に家に閉じこもりがちだった人が、ここに来るようになって元気が出た人もいます。徳山は元気な人が多いですよ。



徳山区長 澤口浩忠さん

徳山区では、このときどんの池の美化活動を全世帯を対象として実施しています。毎月2つの組（人数が多い組は1組）が参加して、毎月第3土曜日の朝に実施しています。多いときは50人以上が作業に参加してくれます。声をかければ参加してくれる、非常にまとまりがある地区で、本当にありがたいことです。

この公園の整備や美化活動を通して、自分たちの地域は自分たちがつくる、守っていくという精神が養われているのではないのでしょうか。

徳山区には昔から受け継がれてきた伝統芸能や、桜を生かした取り組みなど、多岐にわたって地域づくりを推進しています。少子高齢・過疎化の時代ですが、みんなが団結して地区に愛着を持ち、にぎわいのある徳山区を目指しています。

さまざまな取り組みを通して、自分たちの地区は自分たちで育てるといふ心が養われています

# ホタルが舞う古里の姿を夢見て 鑑賞会を通して触れ合う大人と子ども

## ときどんの池ホタルを育てる会主催 ホタル鑑賞会 6・6日

「ときどんの池ホタルを育てる会」は、徳山区にホタルを復活させようと、関心のある人たちが集まって結成されたグループ。全国各地のホタル保護先進地の取り組みを学ぶため、毎年視察を実施。平成12年から幼虫の放流を実施している。

近年では、少しずつ成果が出始め、公園周辺などにホタルが舞う姿が見られるようになってきた。

グループは地区の小学校課外授業にも講師として協力。子どもたちにホタル飼育方法の指導もしている。

毎年グループでは、地域住民を対象としたホタルの

鑑賞会を実施。地区の人たちにグループの取り組みや、その成果を公表している。鑑賞会の事前には、回覧板を使って全戸に周知。参加を呼びかけている。

今年6月6日に鑑賞会を実施。当日は、地区内外から親子連れなど約40人が参加して、ホタルの幻想的な光を楽しんだ。

6月6日、夜8時。あいにくの雨模様。ホタルの飛翔が心配される中で鑑賞会は始められた。

午後8時前から、地区の人たちが徐々に集まり出す。お母さんと手をつないだ子ども、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんも、皆ホタルを一目見ようと、期待を込めた目で飼育ハウスに入っていた。

区役員たちは、雨の影響でホタルが飛ばないかもし

れないと心配していたが、ハウスの中から「飛んでるよ！光ってる！」と、うれしそうな声が聞こえてきた。中に入ってみると、確かに小さな光があちらこちらに舞っている。何とも幻想的な光景に、思わず引き込まれそうになる。光は15から20くらい飛んでいるだろうか。

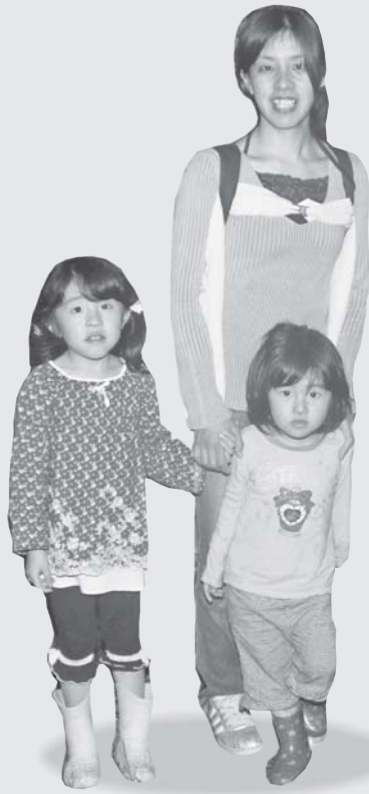
「きれいだねえ、かわいいねえ」と昔を懐かしむように光を見つめる大人たち。「ホタルがわたしの手にとまったよ。どうしよう」と、そこから動けなくなる子どもたち。感動する心に、大人も子どもも関係ない。参加者全員が、ほのかな光の筋に見入ったままだ。

地区内外から大勢の人が参加したホタル鑑賞会。大人も子どもも関係なく、幻想的な光に心躍らせた。



### 子どもとよく遊びに来る公園 ホタルがとてもきれいでした

中谷美幸さん  
咲穂ちゃん(6歳・左)  
麻瑚ちゃん(4歳・右)



美幸さん「わたしたちは、この公園によく遊びに来ます。子どもたちが大好きな場所なんです。鯉を見たり、ザリガニを捕ったりします」  
咲穂ちゃん「ここはいつも遊びに来るよ。ホタルを見たのは2回目だよ。最初はパパと見たの。今日は家族みんなで来た。ホタルかわいかったよ」  
麻瑚ちゃん「ホタルがね！わたしの腕に止まったんだよ！すごいね！とってもきれいだったよ」

鈴木俊三さんが子どもたちに説明していた。「ホタルはなぜ光を出すんだと思う？実は繁殖のためなんです。親が子どもを未来に残すために、お互いが光で引き寄せ合っているんだよ」子どもたちの目は、俊三さんを見たりホタルを見たりと忙しい。

「昔は捕まえるほどたくさんいたのに、やっぱり環境が変わっちゃったんだねえ。これからも頑張ってもらいたいねえ」と話しながら帰っていった。たくさん地域住民が来場し、鑑賞会は成功に終わった。



そして参加者の中からは、この取り組みを見守り、応援していきたいという声も聞かれていた。ここにも、育ちつつある心があつた。

真っ暗なハウスの中、幾筋もの光の軌跡が来場者の目の前を通り過ぎた。「ホタルを育てる会」が生んだ希望の光だ

## 特集 地域への愛着心

荒廃農地を再生し、住民憩いの場を創造した徳山区に見る地域愛着心



徳山自然観察公園  
ときどんの池 発起人 (元徳山区長)

つとむ  
**橋本務**さん

【第3章】

# 地域を創造する

地区の中だけではなく、外との交流を図りたい  
発起人の橋本務さんが、公園のこれからを語る

このときどんの池は、未だ完成していない公園だと、元徳山区長・公園発起人の橋本務さんは言う。憩いの場の創出を、地域住民に呼びかけた人物だ。

なぜ公園を整備しようと考えたのか。そして、これからこの公園は、どんな発展を遂げていくのか。務さんに聞いた。

**ホタルが舞う美しい景観を取り戻したかった**  
自然観察公園ときどんの池は、わたしが徳山区長を務めていたころ、農地関係の補助金などを活用して整備を始めた。

ここは、終戦後からずっと放棄水田となっていた土地です。でも元々は、ホタルがたくさん飛び交う、美しい水環境がある土地だったんです。ホタルが舞う季節には、家の中にまでホタルが迷い込んできたほど。「家の中にホタルを入れるんじゃない」と、よく親に叱られたものです。

放棄されてからは長年、茶園に入れる草刈り場として使

そして、この広大な公園を維持していくために、今も地区の皆さんが力を出し合ってくれています。自分たちの暮らす地域だから、自分たちの手で良くしたい。みんなここに愛着があるし、誇りもある。同じ気持ちで共有しているからこそ、この公園が今でも、美しい景観を保ち続けていられるんです。

**これからわたしたちが成すべきこと**

近年では、町外からたくさんの方が訪れるようになってきました。毎年のように県外から訪れてくれる人もいます。

次のページへ

4年以上かけてつくり上げた公園  
ここに愛着があるからこそ  
今も、地域住民が力を出し合って  
美しい景観を保ち続けている

用されていました。生活排水が流れ、いつの間にかホテルの姿も見られなくなっていました。  
あるとき、知人のアドバイザーで、ここに公園を整備しようと思いつきました。しかし関係する土地所有者は30人以上。土地借用の承諾を得るだけでも、多くの時間を要しました。  
土地借用のめどが立ち、公園整備が始まったのが、平成9年のこと。4年がかりで整備して、この土地は今の形に生まれ変わりました。  
平成10年には、公園の名前を地区内で公募。「ときどんの池」に決定しました。「ときどん」とは、その昔この付近

を治めていた戦国時代の武将土岐氏にちなんだもの。みんな親しみを込めて「ときどん」と呼んでいます。  
**憩いの場をつくらうと地域が一つに**

この地を、そのまま荒地地にしておくのは寂しい。みんなが「憩う場所」として、誰でも気軽に立ち寄れる場所にした。昔のように、子どもたちが水環境や水棲生物と触れ合える場所にした。そんな思いを、地区の皆さんは理解してくれ、協力してくれました。地区全体を巻き込まなければ、とてもここまでものはつくれなかつたでしょう。

# わたしは徳山で生まれ育った だから、この地に誇りも愛着もある ここならではの特色を生かしながら 訪れる人を温かく迎えたい

その人たちが、実際にここでお金を落としてくれる。この地をうるおわせてくれる。とてもありがたいことです。

最初は地区のため、地区住民のためと思って整備を始めたときどきの池ですが、今はもつと広い意味で、人と人との交流できる公園になつてきたのを感じています。

わたしたち地域の人間がこれからできることは、ここに訪れた人を温かく迎え入れること。自分たちだけが楽しむのではなく、たくさんの方が触れ合う場所にしていきたいと思えます。地区の人も、町内の人も、町外の人も、ここで楽しんで、感動して、喜んで、気持ちよく帰ってほしい。

また来たいと思いつつ帰ってほしいのです。

そのためのアイデアも、まだまだたくさんあります。トイレを整備する、駐車場を整備するといった基本的な部分はもちろんですが、もつと大きな夢もあります。公園の横を走る道路の法面一面に梅の木を植えて、いつか梅園を整備したい。そのついでについでに展望台をつくりたい。徳山は桜の名所として定着してきた地区※①です。今度は梅を植えて、ゆくゆくは桜と梅の2枚看板で「花のあふれる里」を実現したいと思つています。

地域住民と訪問者とが交流できる「きつかけ」もつくりたい。現在秋に1度だけ開催

している物産展「ときどん市」。利便性を考慮して別の場所を借りていますが、いずれはこの公園で、定期的に楽しめる朝市にしていきたい。そこでは、地区の皆さんが自慢の野菜や山菜などを持ち寄り、訪問者に振る舞う。買ってもらおう。地場産品を使った一品料理を出してもいい。住民と訪問者との触れ合いが生まれ、さらに地域が活気づくことでしょう。

ここに暮らす人々が持つ徳山への愛着。その心はきつと訪問者にも伝わるはずですが、これからの時代、地区の内外的関係なく、多くの人が交流できる場所にしていくことが、地域づくりには欠かせないと思つています。

## 生粋の徳山人だから思うことがある

わたしは戦時中、兵隊として半年間、ここを離れました。横浜で出兵に備えて訓練を重ねているうちに、終戦を迎えました。地元に戻ってきて思ったのは、ただ運が良かった。生き帰ってこられて本当

- ※①「徳山の桜並木・桜祭り」  
地区を千本の桜でいっぱいしようという取り組みは、代々受け継がれてきた徳山区の精神。近年では、川根高校前のしだれ桜や桃沢土手のソメイヨシノが地区の名物となり、シーズンには大勢の人が押し寄せる。地域住民が主催する桜祭りは、他町・他県からも人が訪れるイベントに成長した。
- ※②国指定重要無形文化財「徳山の盆踊」  
町外からの来場者も多い伝統の祭り。鹿ン舞、ヒーヤイ、狂言の裏方は、各組ごとと当番制で担当し、舞台を支えている。鹿ン舞、ヒーヤイの舞い手は地区の子どもたち。大人と子どもが協力して祭りをつくり上げる。異世代間の交流にも一役。



に幸せだったということ。もう一度この地を自分の足で踏みしめることができたんですから。

帰ってきてからは、運送業や土建業の仕事をやりながら、ずっと徳山で生活しています。この土地が好きだからこそ、何かやろうと思えるし、それにみんなが付いてきてくれたから今があると思つています。

わたしはよく、「男なら地元を愛する人になれ」と若い人たちに話します。それはわたしに、ここに一番愛着を持っているからかもしれません。

ある県外からの訪問者に話を聞いてみました。その人は「こんなにホテルが見られるとは思っていなかった。素晴らしいところですね」と喜んで帰っていったんです。その人は地元で買い物をしてくれたり、地元の宿を使ってくれたりしました。この地域への波及効果も、少なからずあることを知ったんです。

## はしもと●つとむ

徳山区長を務めていた時代に「住民憩いの場」をつくる必要性を提唱。多くの人の協力を得て公園整備を実現させた功労者。多方面に顔が利き、公園整備の際には関係機関との交渉に尽力。その指導力と温厚な人柄で徳山区を長く牽引してきた。元中川根町議会議員。平成17年町政功労者。



## 住民参加が地域の明日を創造する 他地区に見る地域愛着心



●地域に埋もれた宝物を掘り起こす  
自宅に眠る宝物を発掘して持ち寄り、地域の伝統文化を振り返ろうと坂京区でコンテストが開催された。昨年は約30点の品々が集会所に集められ、住民による投票が実施された。炭を使ったアイロン、牛のわらじ、大井川を描いた絵地図などの品々を通して、地域の歴史を振り返った。住民間の交流にも



●田んぼを活用した新たな試み  
地名区は平成19年から、新たな試みとして「案山子コンテスト」を実施している。西地名に広がる水田を活用した取り組み。案山子は区の各班ごとや、個人が製作。開催初年度の平成19年は約20体が出品され、水田脇にずらりと並べられ、地名の風物詩に。地区内外から大勢の人が訪れた。

●赤鳥居を目玉に、人が訪れる地区へ  
稲荷神社に赤鳥居を並べて地区の目玉にしよう有志が集い、赤鳥居会を結成。平成19年から取り組みを始めた。地域住民が知恵を出し、協力し合い、手作りで赤鳥居を製作している。ゆくゆくは、稲荷神社の参道に赤鳥居を並べ、地区内外の人が見に来る稲荷神社にしたいと意気込む。





## ●取材を終えて

橋本務さんにインタビューした帰り、ときどんの池に寄ってみると、そこでグラウンドゴルフ場の芝を刈る人に会った。話を聞くと、誰かに頼まれて作業しているわけではないらしい。

「わたしは、いつもここでグラウンドゴルフを楽しんでいます。だから、自分できれいにするのは当たり前のこと。毎日の仕事に一生懸命励むことができるのも、ここに早く来たいと思うから。ここに愛着があるから、自分にできることで貢献しようって思うんです」と話す、その人の笑顔が印象的だった。

この公園の誕生から9年が過ぎた今も、美しい景観をずっと保ち続けていられるのは、そんな人たちの日々の努力があることを忘れてはならない。

住民が憩う場所をつくりたいと願い、地域を動かした橋本務さん。今では地区内外からたくさんの人が集う、みんなに親しまれる公園に成長した。ここに至るまでには数々の課題もあったと、あるとき務さんは言った。しかし、この土地に愛着があったから困難も乗り越切れた。地域の団結があったからやり遂げることができたとも話していた。

近年、まちづくりの重要性が叫ばれて久しいが、どうもその本質を見失ってはいないだろうか。「どんなまちづくりをすべきか？」ばかりが議論の先に立ち、本来の目的である「なぜ、まちづくりをするのか？」という部分が置いてけぼりになっているような気がしてならない。

「この地が好きだから。ずっと住んでいたいから。だからこそ、自分たちでやれることをやりたい」。徳山区に見るそんな単純な思いこそが、まちづくりの基本であり原点なんだろうと思う。

少子高齢・過疎化が進む現代。この徳山区も例外ではない。伝統芸能「鹿ノ舞・ヒーヤイ」の舞い手が近年、中学生から小学生に変更されたのも、少子化が色濃く影響している。

町を離れる若者が増えた今、何より怖いのは、住民が地域への愛着を失ってしまうこと。地域に誇りを、未来に夢を持ってなくなってしまうことだ。

今回の取材では、地域の夢を、地域の未来を、生き生きと語る人がたくさんいた。自分にできることを頑張ろうとする人がたくさんいた。そんな人たちの思いと知恵と努力が、この公園の歴史をつくり上げてきた。

自分たちが暮らす地域だから、自分たちの手でつくり上げる。自分たちがつくった場所だから、さらに愛着も沸く。何度も何度も足を運びたい。維持管理にだって精を出すことができる。そんな好循環が「地域」を、「町」を、生き生きと輝かせていくのだろう。

一步踏み出そうとする勇気。何かをやってみようとする意思。わたしたちが忘れてはならない「地域を愛する心」を、徳山区の取り組みは教えてくれていた。

「ときどんの池はすてきな公園になりましたね」。そう声をかけたわたしに、務さんはにっこりとうなずいて見せた。

その笑顔は、地域への愛着心にあふれていた。

特集 地域への愛着心 終

再生から育成へ  
育成から創造へ  
地域への愛着心が、  
地域を生き生きと輝かせる

週末、ときどんの池に写真を撮りに行くと、そこで島田市川根町から来ていた中村さんと一家と出会った。お母さんに話を聞くと、「ここは以前から、子どもを連れてよく来ます。子どもを遊ばせるには最適な場所。子どもたちも楽しみにしているんですよ」と話していた。竜斗くん（7歳）と郁哉くん（5歳）は、お母さんと一緒に池の鯉を見て楽しんだ後、周辺でザリガニを捕まえて大喜び。2人とも「10匹とろぞ！」と意気込んでいた。町外からも多くの方が訪れるときどんの池。「交流」という新たな方向性を示す、まちづくりの一つの形だ。

## 8月1日から被保険者証が変更になる

長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の保険証は、毎年8月1日に新しい保険証に変わります。現在お使いの藤色の保険証は、有効期限が平成21年7月31日までのため、8月1日以降は使えません。

8月1日からお使いいただく新しい保険証は緑色です。役場から、7月下旬までに被保険者の皆さんに郵送しますので、8月1日からはこの緑色の保険証をお使いください。新しい保険証が届いたら、住所、氏名、皆さんが病院などで支払う医療費の「一部負担金の割合（1割または3割）」などを「ご確認ください。」

この「一部負担金の割合」は、平成20年中の所得によって決まりますので、前回と割合が違う場合があります。

### 一部負担金の割合が3割の人

- ①住民税の基準課税所得額が145万円以上の被保険者
- ②①と同じ世帯の被保険者 ※ただし次の条件に当てはまる人は、確定申告書の写しなどを添えて申請することにより、負担割合が「1割」になります。
- ◆世帯に被保険者が1人で、その被保険者の収入が383万円未満の人
- ◆世帯に被保険者が2人以上いて、その被保険者の収入合計額が520万円未満の人
- ◆世帯に被保険者が1人で、同じ世帯に70歳以上75歳未満の人がいる場合、被保険者と同じ世帯の70から75歳未満の人の収入合計額が520万円未満の人

## 保険証の変更・保険料の決定について

# 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）からお知らせ

### 限度額適用・標準負担額減額認定証の交付には申請が必要

自己負担限度額適用・標準負担額減額認定証（減額認定証）も、有効期限が「平成21年7月31日」となっているため8月1日以降は使用できません。

減額認定証の交付には申請が必要となります。交付を希望される人は、役場の担当窓口に申請してください。有効期限の過ぎた保険証および減額認定証は無効となります。無効となった保険証な

どをご自分で処分する際は、細かく裁断するなどして、住所・氏名など他人に知られないよう十分注意してください。本庁（または総合支所）へ返却していただいても結構です。

平成21年8月に平成21年度の長寿医療保険料を決定します。これを確定賦課といえます。平成21年4・6・8月に、仮徴収により平成21年度分の保険料を納付されている人は、決定した保険料額から4・6・8月に納めた額を差し引いた、残りの額を納めていただくこととなります。その際、決定した保険料額よりも仮徴収額が大きければ還付されます。

### 保険料の軽減措置について

平成21年度は、従来の保険料軽減措置（均等割の7割、5割または2割軽減措置）に加え、次の軽減措置をします。

- ①世帯内の被保険者全員と世帯主の所得金額の合計額が33万円以下の方は、本来は均等割が7割軽減ですが、平成21年度は8・5割軽減となります。
- ②①に当てはまる人のうち、世帯内の被保険者全員が年収入80万円以下で、他の所得がない世帯の方は、平成21年度から均等割が9割軽減となります。
- ③長寿医療制度に加入する直

### 平成21年度長寿医療保険料の決定について

平成20年中の所得に基づき、

なお、年金差し引きによる

8月1日からの新しい保険証緑色をしています▼



### 保険料納付方法・納付月 ●年金差し引き ◆現金または口座振替

納付月▶	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H22 1月	H22 2月	H22 3月
▼徴収方法												
① 仮徴収されていても確定賦課額と異なる人	●	●	●				●		●		●	
② 仮徴収されても普通徴収となる人	●	●	●				◆	◆	◆	◆	◆	◆
③ 仮徴収されて確定年金と異なる人						◆	◆	●	●		●	
④ 仮徴収されて確定賦課額で普通徴収となる人、および既に年金差し引き中止を申し出ている人						◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

### 保険料の納付について

皆さんに納めていただく長寿医療保険料は、病院や薬局

へ支払われる皆さんの医療費に充てられています。安定的な医療制度を維持していく上で不可欠な財源です。納め忘れないようお願いいたします。また特別な事情があつて保険料の納付が困難などの納付に関する場合は、気軽に役場担

相談窓口  
福祉課長寿介護室  
福祉介護室  
☎(58) 7071

当窓口までご相談ください。

## 出張がんよろず相談を実施します

静岡県立静岡がんセンターから

県立静岡がんセンターでは、県民の皆さんからの「がん」に関する総合相談を受ける窓口として「よろず相談」を設け、電話や対面で毎月900件以上の相談に応じています。

このたび、対面でのよろず相談を利用することが難しかった地域の皆さんが相談しやすくなるよう、専門スタッフが地域に出向いて開く「出張がんよろず相談」を実施することになりました。

日時 8月18日(火) 午後1時～4時

場所 藤枝市保健センター

対象 原則として、中部健康福祉センター管内の住民で、がんに関する相談を希望する人

内容 専門スタッフによる対面相談。医師、看護師、ソーシャルワーカーなど、2～3人のチームが、患者・家族からのがんに関する疑問や不安、悩みについて話を伺い、一緒に考え、問題を解決する手助けをします。

その他 この事業は、静岡県厚生部（疾病対策室）からの委託事業として、平成21年6月より平成22年2月までの間、各健康福祉センター・政令指定都市を単位として、月1回程度、静岡がんセンターが実施します。

### 予約・問い合わせ

相談は、事前予約制で先着5組までとし、定員になりしだい締め切ります。

予約受付日 7月27日(月)～8月7日(金)

受付時間 午前8時30分～午後5時  
(土日・祝日を除く)

静岡県立静岡がんセンターよろず相談

☎055 (989) 5392 (出張がんよろず相談予約専用ダイヤル)



## カヌー教室を開催します

川根地区カヌー競技振興会から

川根地区カヌー競技振興会では、カヌー教室を、8月15日に開催します。場所は長島ダム周辺。気軽にお申し込みください。

**日時** 8月15日 土  
午前10時～12時

**場所** 長島ダム周辺  
**種目** レーシングカヌー  
レジャーカヌー

**参加費** 500円（保険代含む）

**持ち物** 着替え、サンダル、飲み物、日よけ（濡れても良い服装で）

**申込期限** 8月7日 金

**その他** 先着順。40人で締切。

**送迎バス**

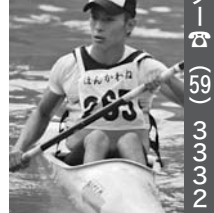
行・島田市役所8:20～川根中学校9:10～千頭駅9:40～長島ダム  
帰・長島ダム12:30～千頭駅12:20～川根中学13:20～島田市役所14:00

【問】川根高校 ☎ (57) 2221



## 本川根B&G海洋センター主催の教室 カヌー出前教室を開きませんか

本川根B&G海洋センター ☎ (59) 3332



日本カヌーフラットウォーターレーシングジュニア選手権2006.8より

平成15年度静岡国体のカヌー競技会場となった本町では、普及活動の一環としてカヌー出前教室を開いています。地域、職場、仲間などのグループで、ぜひカヌーを体験してみてください。申し込みは本川根B&G海洋センターまでお願いします。

**教室期間** 5月～11月

**場所** 大井川流域（天候により屋内プールの場合あり）

**集合・解散** 本川根B&G海洋センター

**教室の内容** 初心者向けカヌー指導（安全上、川下りはしません）

**持ち物** 濡れてもいい服装、着替え、その他各自必要なもの

**参加費** 1人500円（保険料教材費含む）

※急な申し込みには対応できません。希望の時間帯「午前・午後」のどちらかを指定してください。開催場所は、海洋センターで指定します。雨や川の状況によっては、中止・場所の変更もあります。B&G海洋センターで判断します。

## ネイチャーウォッチング参加者を募集 本町の自然環境を調べてみよう

企画課 ☎ (56) 2221



本町では本年度、「川根本町環境基本計画」を策定します。この計画の策定にあたり、本町の自然環境の「今」を子どもたちと一緒に調べるため、ネイチャーウォッチング（自然観察調査会）を企画しました。ぜひご参加ください。（参加費無料）

**実施日** 7月25日 土 午前10時～12時

※当日は、役場本庁舎駐車場に、午前9時45分までに集合してください。

※雨天の場合は、8月1日 土 の同時刻に延期します。

**調査予定場所** 下泉駅南側の大井川支流を予定（調査場所まで町マイクロバスで案内します）

**内容** 水棲生物の観察を通して、川の水質を調査します。また、河原の石から見た自然環境（大地の生い立ち）の特徴を調査します。

**対象** 町内小学校の4年生以上の児童（20人程度）

**持ち物** 濡れても良い服装、運動靴、飲み物、帽子

**申込方法** 申し込みは電話で。次の申し込み先に氏名、住所、年齢、学校名、学年をお伝えください。

**申し込み・問い合わせ**

企画課環境室 ☎ (56) 2221

**申込期限** 7月15日 水

「川根本町環境基本計画」とは：わたしたちの町「川根本町」は、四季折々の美しい姿を見せる南アルプスの山々、清き流れの大井川、全国に名高い川根茶の産地である茶畑を有し、豊かな森林と水を守ってきました。わたしたちはこの豊かな自然環境を、将来へ引き継いでいかなければなりません。そこで本町では、町の環境の現状を踏まえ、町民・事業者の皆さんと協力しながら、将来的な町の環境方針や長期的な展望、施策の方向性を示すため川根本町環境基本計画を策定します。

## 温水プールがオープン

本川根B&G海洋センターから

6月2日より、本川根B&G海洋センターの温水プールがオープンしました。水泳を楽しみたい人、健康づくりに役立てたい人、ぜひプールをご利用ください

**利用料** 大人100円・高校生以下50円・小学生未満無料

**開館時間** 午前9時～12時、午後1時～5時、夜間午後6時～9時

**休館日** 毎週月曜・第3日曜

※6月中の日曜日は、夜間は開館しません。

**ご注意** 小学生以下は、保護者の同伴が必要です。



本町では、寝たきりなどの人への在宅訪問歯科診療を支援しています。入れ歯でお困りの人、歯が痛い人など、通院して歯科診療を受けることが困難な人の元へ歯科医師が往診します。

**対象者** ①本町在住の寝たきりの人、それに準ずる人。

②通院は困難だが、在宅での歯科の治療は可能な人。

**診療者** 榛原歯科医師会の歯科医が伺います。

**申し込み** 本人またはご家族が「在宅訪問歯科診療申込書」を本庁福祉課長寿介護室か総合支所福祉介護室へ提出してください。※申込書は町ホームページからもダウンロード可能。

**往診料** 本人負担（事前調査費は町が負担します）

寝たきりの人対象・歯で困ったときは

訪問歯科診療をご利用ください

福祉課 ☎ (56) 2224

7月1日は、経済センサス基礎調査の日です

7月1日、平成21年経済センサス基礎調査が、すべての事業所を対象に全国一斉に実施されます。この調査の結果は、国、都

道府県、市区町村がこれからの経済活動、雇用対策など、わたしたちの生活をより良くするために必要な基礎資料となります。

6月下旬から調査員が各事業所へ調査票をお届けします。ご協力をお願いします。

6月下旬から各事業所への訪問を開始

経済センサスにご協力ください

企画課 ☎ (56) 2221

地上デジタル放送への移行が進んでいます。

**地デジへの移行予定**

●本川根中継局

平成21年（2009年）7月末試験放送開始予定

●徳山中継局

平成21年（2009年）11月末 試験放送開始予定

※中川根局は移行済み

**地デジを見るためには：**

地デジ対応テレビか、地デジチューナー、地デジチューナー内蔵録画機器が必要です。

**自宅にアンテナを立てて受信している場合：**

地デジ放送を受信するため

7月末、本川根局が試験放送開始予定

地デジの現況をお知らせします

にはUHFアンテナが必要で、現在使用中の、アナログ用UHFアンテナがそのまま使えます。

**共同受信施設で受信している場合：**

施設によっては、設備を地デジ対応に改修しなければならない場合があります。

共同受信施設の地デジ改修工事には、町・国・NHKの補助制度をご活用ください。

**分からないときは：**

地デジコールセンター

☎ 0570 (07) 0101

企画課広報情報室

☎ (56) 2221

企画課 ☎ (56) 2221

# 健康の話

36



今月の執筆者  
**宮木清美 看護師**  
今月の「知ってトクする健康の話」のテーマは「健(検)診」。  
宮木清美看護師がご紹介します。

このページでは、カゼの予防、健康診断、心のケア、食事に関する豆知識など、皆さんが日頃気になっている健康に関するよもやま話を、保健師・栄養士・看護師の皆さんがリレー形式でご紹介しています。

## 各種健(検)診が始まりますよ!

本町では、7月から各種健(検)診が始まります。結核・肺がん・胸部レントゲン検診・生活習慣病健診(40歳未満)、特定健康診査(40〜74歳)、後期高齢者健康診査(75歳以上)、がん検診(胃・大腸・乳・子宮がん)、骨粗鬆症予防検診(40・45・50・55・60・65・70歳の女性)、歯周疾患検診(40・50・60・70歳)が実施されます。

町民の皆さんには、4月下旬に各世帯に各種健(検)診対象者調査票を配布し、希望を出していただきました。昨年健(検)診を受けた人はこの

存じと思いますが、平成20年度から国の医療構造改革を受けて、40歳以上の健康診査が大きく変わりました。

新たな制度「特定健診」は、各医療保険者が対象年齢である被保険者全員を対象としています。

川根本町国民健康保険の加入者は町の特定健診が受けられますが、被用者保険の本人および被扶養者は、加入している医療保険で受けることになっていきます。皆さんお間違えのないように受診してください。ご不明な点は、いつでもお問い合わせください。

## 年齢とともに増える生活習慣病

最近、メタボリックシンドロームという言葉が一般に広まり、おなかの出っ張りを気にする人が増えています。この出っ張りこそ、メタボのサインといわれています。メタボの最大の原因は「内臓脂肪」つまりおなかの中にある内臓周辺の脂肪が多すぎる状態なのです。体重は標準でも、内臓脂肪は多いという人もいます。

内臓脂肪は「血中脂質」「血圧」「血糖」などに悪影響を及ぼし、これらの異常が複数重なった状態が、メタボリックシンドロームなのです。

メタボは、ある日突然起こるわけではありません。良くない生活習慣を毎日積み重ねることで現れる「生活習慣病」の一つなのです。何気なく続けている生活が、知らないうちに内臓脂肪を溜め込み、それと同時に病気のリスクも高めています。年に一回は自分の身体を見直すために、ぜひ健(検)診を受けましょう。

**【生活習慣病を予防しよう】**

- ① ウォーキングで運動不足を解消しよう。
  - ② 適切飲酒と禁煙を進めよう。
  - ③ ストレス・疲れを上手に解消しよう。
  - ④ 定期的に健診を受けよう。
- 【生活習慣病予防は食生活から】**

- ① 1日3食、バランスの良い食事をとる。
- ② 食べ過ぎない・腹8分目。
- ③ 動物性脂肪をとりすぎない。
- ④ 野菜を多くとる。
- ⑤ 食物繊維は十分にとる。
- ⑥ 塩分は10g未満に。
- ⑦ カルシウムを意識してとる。
- ⑧ 就寝前の夜食はとらない。

今日からでも決して遅くはありません。生活習慣の改善に取り組みましょう!

## 自転車の運転技術を競う

南部小が出場・塚本睦樹さんが最優秀賞

第42回交通安全子供自転車島田地区大会は5月16日、島田市金谷体育センターで開催され、中川根南部小学校の児童5人が本町代表として出場しました。

緊張した表情の児童たちでしたが、先生や保護者たちの声援を受けて、素晴らしい運転技術を披露しました。中川根南部小は抜群のチームワークで団体の部・努力賞を受賞。また個人の部では、塚本睦樹さん(6年)が最優秀賞に輝きました。



全員で記念撮影。写真中央が個人の部最優秀賞の塚本睦樹さん。

## 藤枝市と本町の連携の証

FSC森林認証木製ベンチ藤枝市に寄贈

本町は藤枝市に5月22日、FSC森林認証木製ベンチを寄贈しました。このベンチは久野脇の町有林から切り出された杉を、長尾川製材工場(高郷)で製材加工し、(有)建商(徳山)に委託して製作したもの。

杉山町長は「藤枝市が本町の取り組みに答えてくれることに感謝している」と、寄贈を受けた北村正平藤枝市長は「このベンチは両自治体が手を取り合うシンボル」と話し、互いに連携を確かめました。



藤枝市役所の市長室で、寄贈したベンチに座り会談する北村正平藤枝市長(左)と杉山町長

川根高等学校で開催される「南麓祭・文化の部」は、6月6、7日の両日、同校校舎や体育館を会場に開催されました。一般開放となった7日は、午前9時の開始直後から大勢の来場者が会場に詰めかけました。

オープニングを飾ったのは、書道部員による「書」の披露。山下由貴子さんと下嶋まどかさんにより、今年の南麓祭テーマである「絆-Friendship-」が力強く書かれ、大きな拍手が沸き起こりました。山下さんは「書道部は今年でなくなります。最後にここで作品を残せて良かったです」と話していました。

校内には、生徒たち手作りによる出展・出店が軒を連ねました。喫茶店や屋台など、いつの時代も変わらぬ文化祭の風物詩を始め、茶華道部によるお茶会、自主製作映画の上映など、趣向を凝らしたブースの数々を、来場者は1日かけて満喫していました。

## 今年のテーマ「絆」を体現

川根高校の「南麓祭」に大勢の来場者が



絆をテーマに写真を撮ってみました。1段ボールのトンネルで。2自主製作映画を上映。3年生のクラス。3茶華道部のお茶会で。4今年で有終の美・書道部最後の作品「絆」。書道部の山下由貴子さんと下嶋まどかさん。5男の背中も「絆」で結ばれていました。

Topics

## 川根本町のまちの話題

太陽光発電事業に参画

太陽光事業大手ノースエネックソーラー㈱と業務提携

ビルメンテナンスは島田支店へ

清掃一般・貯水槽清掃・空調維持管理・保守点検事業

株式会社 エム・エー・フジワ (旧社名) 株式会社藤田鉄工所

本社：上長尾 ☎ (56) 1329 島田支店 ☎ (33) 5222

# 生涯学習のひろば

教育委員会生涯学習課

☎(58)7080

海の子と山の子が教室を通して触れ合う  
海の子・山の子交流教室「山の体験」



長島ダムしぶき橋で、名前通り「しぶき」を浴びながら橋を渡る子どもたち

トンネルを歩くミステリートンネルツアー、井川線のトロック列車の乗車体験など、本町ならではの体験が繰り広げられました。夜はウッドハウスおろくぼに宿泊。互いに交流を深めました。

2日間、さまざまな体験をした子どもたちは教室終了後、「コウモリを初めて見ました。とても可愛かったです」「夜空の星がとてもきれいで感動しました」「初めてカヌーを体験したけれど、とても楽しかったです」など、「山の体験」を存分に満喫した様子でした。

本町と焼津市の子どもたちが、それぞれの古里の生活を体験しながら交流を深める海の子・山の子交流教室「山の体験」は5月23、24日の両日、本町の各地区を会場に開かれました。

昨年8月に焼津市で実施した「海の体験」に続く活動第2弾です。本教室には、本町の小学5・6年生14人と、焼津市の小学5・6年生23人が参加。約9カ月ぶりに顔を合わせた子どもたちは、声を弾ませながら再会を喜び合いました。

奥泉の水力発電所の見学会、真っ暗な

2日間の主な活動とお世話になった講師の皆さん

- 1日目** 奥泉水力発電所見学・ミステリートンネルツアー・井川線乗車・星の観察  
講師：中部電力(株)大井川電力センター業務グループの皆さん、MACの鈴木一男さん、中道貴子さん、小井由香さん
- 2日目** カヌー体験(本川根B&G海洋センター)・川の魚の話(田舎家)  
講師：本川根B&G海洋センター職員、山口捷彦さん



写真左：奥泉水力発電所にて職員の説明を受ける  
写真右：田舎家にて山口さんの話を聞く子どもたち  
※ミステリートンネルとは…長島ダムの建設に伴い廃止された「旧井川線トンネル」を、遊歩道として再利用している。トンネル内には「コウモリ」が生息している。

青少年のすこやかな成長を見守りたい  
地域の青少年声掛け運動の協力者を募集

県では、次代を担う青少年のすこやかな成長を願い、7月1日から31日までの1カ月間を「静岡県青少年の非行問題に取り組む強調月間」と定めています。

平成12年に始まった「地域の青少年声掛け運動」は、大人から進んであいさつをする、子どもをほめる、認める、感謝するなどの声掛けをきっかけとして、青少年に積極的にかかわり、成長を地域ぐるみで見守ろう、支援していこうという運動です。現在、県下で約24万人が賛同し、運動に取り組んでいます。

地域の青少年声掛け運動にご協力いただける人を募集しています。興味のある人は町教育委員会生涯学習課へお問い合わせください。申し込まれた人には、実行章(バッジ)を進呈します。



今月の予定

- 7日(火)** むつみ学級開講式、すこやか大学(北部)開校式・健康講座(北部地域振興センター)
- 11日(土)** 第4回かわねほんちょうスポーツクラブ
- 12日(日)** 家庭婦人バレーボール大会
- 13日(月)** すこやか大学(中部)開校式・健康講座(徳山コミュニティ防災センター)
- 25日(土)** 第5回かわねほんちょうスポーツクラブ
- 25日(土)** 町内小中学生対象本川根B&G海洋センタープール無料期間開始(7/25~8/31)  
※無料期間中は保護者の監視は不要となります。
- 27日(月)** すこやか大学(南部)開校式・健康講座(下泉高齢者コミュニティ防災センター)
- 28日(火)** 水泳教室実施(全17回予定、~8月28日)

今月の展示



6月の町民ギャラリー展示(みどりの丘の皆さん)

今年も本町の期待を背負って走り出す  
しずおか市町村対抗駅伝の出場選手募集



本町では12月5日(土)に開催される「第10回記念静岡縣市町村対抗駅伝競走大会」に出場する選手候補者を募集します。候補者の資格は、①町内に在住・勤務している人(小・中・高校生は保護者の居住地から出場) ②他県在住の人でも、出身中学校所在地が川根本町であれば出場可能です。

7月上旬から週2回(月・水の夜間)練習を開始します。走ることが好きな人、駅伝に興味がある人大歓迎です。ぜひ参加してください。

問い合わせ・申し込みは生涯学習課  
☎(58)7080まで。

昨年の駅伝大会より



町民ギャラリー展示 **切り絵展**  
(森下元司さん・下長尾区)

文化会館ロビー展示 **みどりの丘ギャラリー**  
(陶器、絵画、指編み)

入学・進学 婚礼内祝 出産内祝 快気祝 新築記念 花ロケギ 弔事・法要

川根地区 無料宅配! できる限りのお手伝い致します! ギガセンター文化堂

今月の納期  
税務課  
☎(56) 2223

固定資産税・第2期分 国民健康保険税・第1期分 水道使用料・第2期分

納期限は7月31日です。口座振替の方は7月31日に引き落とされますので残高の確認をお願いします。

■本庁代表 ☎(56) 1111 ■総合支所代表 ☎(59) 3111

## バスの車内事故防止 キャンペーン実施中

県バス協会

ただいま、走行中のバス車内事故を防止するため、キャンペーンを実施しています。

バスの走行中に席を離れると、転倒など思わぬけがをする場合があります。降車の際は、バスが停留所に着いて完全に止まってから席を立つようお願いいたします。また、バスはやむを得ず急ブレーキ、急発進する場合があります。満席で立って乗車する場合など、必ず手すりやつり革につかまってください。車内事故防止に、ご理解ご協力をお願いします。

## 不動産に関する各種 相談は第3水曜日に

（株）県宅地建物取引業協会

不動産に関する苦情・相談ごとには、毎月第3水曜日に実施する無料相談会でご相談ください。

日時 毎月第3水曜日

午後1時30分～午後3時30分

場所 宅建協会しだはい支部会館2階  
藤枝市田沼3丁目1-9

【問】（株）県宅地建物取引業協会しだはい支部 ☎054(634) 2600

## 藤枝総合庁舎の県民 相談室は3月で廃止

中部県民生活センター

藤枝総合庁舎1階の藤枝県民相談室は3月31日で廃止しました。代わりに同庁舎2階の相談室で、多重債務、身の上相談など弁護士による無料法律相談および県民相談を実施しています。**実施日** 毎月第2・4金曜日（月2回）法律相談は予約が必要です。（中部県民生活センター☎054(646) 2199まで）

そのほか、消費生活、労働、就職に関する相談も当センターで受け付けます。

【問】 中部県民生活センター

☎054(646) 2199

## 裁判員制度が始まり ました・5月21日～

静岡地方裁判所

裁判員裁判の対象となる事件が起訴され、裁判の日程が決まった段階で、裁判員が選ばれます。選定方法は、昨年の秋に作成した裁判員候補者名簿の中から、その事件の裁判員候補者をくじで選びます。選ばれた候補者には、裁判員を選ぶ手続き（選任手続き）の日に、裁判所に来てもらうためお知らせを、選任手続きの日の6週間前までに送付します。

【問】 静岡地方裁判所事務局

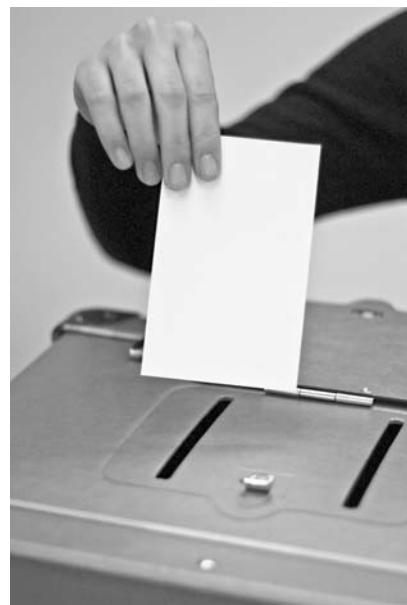
☎054(252) 6111

## 7・5 静岡県知事選 大切なあなたの一票

町選挙管理委員会

7月5日（日）は、静岡県知事選挙が執行されます。投票時間は午前7時から午後6時。あなたの大切な一票を生かすため、投票に出かけましょう。

**投票資格** ①平成元年7月6日以前に生まれた人 ②法律による選挙権失権者でない人 ※3月18日以降に転入届出をされた人は、転入後の住所地の選



挙人名簿に登録されていません。引き続き県内に住所を有する旨の証明書を持って、転入前の旧住所地の期日前投票か、転入前の選挙管理委員会へ投票用紙などを請求し交付を受けて、不在者投票を利用してください。

■期日前投票についてお知らせ■

投票日に投票所に行けない人のため、期日前投票制度があります。期日前投票の日程は次の通りです。ご利用ください。

日時 6月19日（金）～7月4日（土）

午前8時30分～午後8時

会場 本庁1階、総合支所2階

【問】 町選挙管理委員会（総務課）

☎(56) 2220

## 川根本町の人口

平成21年6月1日現在

世帯数	3,089	世帯	(0)	【43】	出生	1	人	【0】
総人口	8,752	人	(-11)	【64】	死亡	8	人	【0】
男性	4,272	人	(-5)	【15】	転入	9	人	【2】
女性	4,480	人	(-6)	【49】	転出	13	人	【0】

※（ ）内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

## 世界が、私が変わる 青年海外協力隊募集

（社）青年海外協力協会

青年海外協力隊とは、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する日本国政府のボランティア事業です。1965年発足し、2007年11月30日までに82カ国の開発途上国に3万人以上が派遣されました。現在も約2500人が全世界で活動中です。参加資格は、満20歳から39歳までの日本国籍を持つ人。活動分野は農林水産部門、土木建築部門、スポーツ部門、教育文化部門など、多岐にわたります。活動方針は、「ボランティア精神に基づき、開発途上地域の経済および社会の発展に貢献すること。受け入れ国の人々と親善、相互理解を深めること」です。活動期間は2年間。募集は毎年2回、春と秋に実施しています。それに併せて全国各地で説明会を開いています。

世界のためにできることが、今、わ

青年海外協力隊キャラバンが本町を訪問  
写真右から、佐藤明子さんと天野恭子さん、杉山町長、佐野智行さん、益井悦郎さん、中部支部の2人も青年海外協力隊の経験者



たしたちにはあります。興味がある人は、ぜひホームページをのぞいてみてください。きっと新しいあなたの姿が見えてきます。

【問】（社）青年海外協力協会

<http://www.joca.or.jp>

☎03(3406) 9151

## 青年海外協力隊全国キャラバン 本町を訪問しました

青年海外協力隊をPRするため青年海外協力協会では、全国を行脚するキャラバンを展開。5月15日、中部支部の佐藤明子さんと天野恭子さん、本町の協力隊経験者である益井悦郎さん（青部）と佐野智行さん（奥泉）が役場を訪問しました。4人は杉山町長と長時間にわたり歓談し、青年海外協力隊の目的や意義を伝えました。説明を受けた杉山町長は「協力隊の意義は理解できる。町としても支援できるところは積極的に支援したい」と答えました。

川根本町自殺予防対策プロジェクトチーム

## 心のコラム

「夜空を見上げてみませんか」

ストレス。仕事や勉強、そして日常生活の中で、知らず知らずのうちに溜まってしまふものです。たまにはのんびりと夜空でも眺めて、このストレスを解消してみませんか。

宿泊施設ウッドハウスおろくぼの横に「三ツ星天文台」があります。この天文台は、毎週金・土・日曜日に開館しています。天文台では、40cmの反射式望遠鏡と、12.8cmの屈折式望遠鏡があり、さまざまな天体を見ることが出来ます。MACというグループの会員が夜空の案内をしてくれます。

夏から秋の夜空には、天の川を中心に、はくちょう座、こと座、わし座、アンドロメダ座などの星座や、その近くにある星雲や星団、そして太陽系以外の銀河なども見ることが出来ます。

MAC会員の説明の中で、「この銀河は、太陽系に一番近いアンドロメダ銀河で、222万光年先にあります。今見ている銀河の光は、222万年前の光なんですなんていうロマンチックな話を聞きながら、壮大な宇宙を体感すると、小さなことによくよしているのがつまらなく感じてしまいます。そんなロマンあふれる夜空を見上げて、心を癒してみませんか。

プロジェクトチーム 森下育昭  
福祉課 ☎(56) 2224

いやしの里診療所 ☎(59) 2102



## 茶娘ちゃんカード会 からポイント交換セールのお知らせ

### ポイント交換セール

7月20日（月）から29日（水）まで

今年は、500円の買い物券を2回分ご用意しました。ぜひご利用ください！



藤枝駅南口店

藤枝駅南口から徒歩30秒、走って18秒!!  
☎054-636-7797

掛川駅北口連雀店

JR掛川駅北口より徒歩3分  
☎0537-21-6696

【出張買取】あなたのお家まで伺います!

【査定無料】お気軽に電話ください。

<http://www.kaiunshop.jp>

金・プラチナ 開運ショップ  
現金買取中!!

0120-529-451

静岡県公安委員会許可第491100198100号 ※買い取り金額等のお電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

正統風水アイテム

取扱い店



改運するなら開運ショップ

### 古里を守る「使命感」 静岡県警察官を募集

島田警察署

次の通り、警察官の採用試験を実施します。古里を守る、やりがいのある仕事です。使命感に燃える人、ぜひお問い合わせください。

— 警察官A —

資格 大学卒業・卒業見込みの人

1次試験 9月20日

(発表9月30日)

2次試験 10月29日～11月4日

最終合格発表 11月27日

採用予定人員 男性30人、女性3人

— 警察官B —

資格 高校卒業程度の人

1次試験 9月20日

(発表9月30日)

2次試験 11月5日～13日

最終合格発表 12月4日

採用予定人員 男性92人、女性10人

— 注意事項 —

●受付期間 7月21日～8月11日

●試験会場は静岡市内です。

●警察官Aのみ「一般試験」のほかに「語学(ポルトガル語、北京語)試験」があります。

●詳細は、島田警察署または近くの交番・派出所までお問い合わせください。

【問】島田警察署警務課 ☎ (37) 0110



### 夏の全国交通安全県民運動を展開します

総務課地域支援室

7月11日から20日まで「夏の全国交通安全県民運動」が実施されます。「安全は自ら うちから 地域から」をスローガンに、町民一人一人が交通マナーを守り、事故のない安全、安心なまちづくりを心がけましょう。

【問】総務課 ☎ (56) 2220

### 戦没者の遺児が対象 慰霊追悼事業を実施

(財)日本遺族会

(財)日本遺族会は「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。先の大戦で、父などを亡く

した戦没者遺児を対象とし、父などの戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼、同地域の住民と友好親善を図ります。

費用 海外10万円、沖縄5万円

訪問先 旧満州、旧ソ連、西部ニューギニア、マリアナ諸島、中国、東部ニューギニア、ボルネオ・マレー半島、トラック諸島、パラオ諸島、ソロモン諸島、フィリピン、ミャンマー、沖縄、台湾・バシー海峡、マーシャル諸島、ギルバート諸島

※日程などの詳細については、次の問い合わせ先までお電話ください。

【問】日本遺族会事業課事業係

☎03 (3261) 5521

### いい歯キラリ番人(万人)の歯コンクール出場者募集

生活健康課

自分の歯が急速に失われる時期にある70歳以上の人を対象に「いい歯キラリ番人(万人)の歯コンクール」を実施します。コンクールを通して歯の大切さを再認識し、町民の皆さんの健康でうらおいのある生活を目指します。

対象 平成21年4月1日現在満70歳以上(昭和14年4月1日以前に生まれた人)で、自分の歯が20本以上ある、またはあると思われる人  
※治療の有無は問いません。

日時・会場 7月17日(金)午後1時30分～ 山村開発センター

申込方法 7月10日(金)までに、電話か申込書にて。詳しくは各戸回覧するチラシをご覧ください

申し込み・問い合わせ 生活健康課健康室 ☎ (56) 2222

住民生活室 ☎ (58) 7070



島田土木事務所からお知らせ

### 大井川 川まつりに行こう

川根本町もブースを出展します! 7・31

今年も大井川「川まつり」を開催します。今回で11回目の開催となる本イベント。わたしたちの暮らしに密接にかかわる大井川について、その大切さや楽しさ、怖さを知る催しが目白押しです。プラザおおるりでもっともっと川のことを好きになろう!

日時 7月31日(金) 午前10時～午後4時

場所 島田市プラザおおるり

内容 大井川の「歴史文化」「生き物の紹介」「楽しさ」「怖さ」など、わかりやすく紹介します。

島田土木事務所企画検査課 ☎ (37) 5272



第3回夏祭り実行委員会からお知らせ

### やっちゃん祭 開催決定

今年も有志の夏祭りを開催します! 8・13

昨年の「夏祭り」には大勢の皆さんにご来場いただきありがとうございました。今年も夏の一夜を盛り上げます。ステージパフォーマンスは三島の高校生マジシャンが出演決定。バザーは実行委員会のほかにアジアンフーズのお店が出店決定しました。内容は後日、ポスターで告知します。お楽しみに!

日時 8月13日(木)

雨天順延: 8月14日(金)

場所 高郷河川敷広場

第3回夏祭り実行委員会

前田 ☎090 (2344) 2099



夏祭りの準備から本番までを紹介する「夏祭りホームページ」(かね米風HP内)を準備しました。携帯電話でQRコードへアクセスしてくださいね。目指せ!川根本町の夏祭り!



募集しています!

1 「〇〇記念の手筒花火」を上げよう! 7月10日まで  
結婚・出産・成人・選挙…、手筒花火にあなたの思いを乗せて、口上を付けて上げます。上げた手筒は進呈します。小筒5,000円、中筒12,000円、大筒28,000円  
お店のPR・告白に! 「梓仕掛け」1.2枚梓一約60秒(1~2文字/梓)15,000円/梓  
ファクスにてお申し込みください。☎ (56) 0009  
2 一緒に夏祭りをつくり上げませんか 8月13日まで  
計画から、準備から、当日だけの参加もOK!ぜひスタッフとしてご参加ください。有志で開催する祭りです。地域を気にしないで一緒に祭りをつくりましょう!  
ご連絡は、☎090 (2344) 2099 前田まで。



### サービスカーの帰り舟・ご利用ください!

手を上げていただければ、目的地の近くまでお送りします(町内)

サービス部長 寺西

### 川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2 TEL: 0547 (56) 0150

### 茶娘ちゃんカード会 から ポイント交換セールのお知らせ

ポイントカードと右の「引換券」を茶娘ちゃんカード会加盟店へお持ちください。300ポイントと引換券1枚で500円のお買い物ができます。

茶娘ちゃんカード会 川根本町上長尾773-1 ☎ (56) 0231

切取 「引換券」 交換期間: 7月20日(月)~29日(水) コピー不可 茶娘ちゃんカード会	切取 「引換券」 交換期間: 7月20日(月)~29日(水) コピー不可 茶娘ちゃんカード会
---	---



左から 山本久美子さん、堀畑和巳さん、筒井周治さん、馬淵昭次さん



日々のくらしにおりふしに  
心に宿る そのおもい  
ひとつ言ってみよう  
ひとつ書いてみたい  
そんな一言

人はその思想を その感情を  
言うことができる動物  
書き表すことができる生き物  
この誌は  
そんな人の言

わたしのまわりに こんな事  
きのう見つけた あんな事  
この誌は  
そんな人の言

気楽に—  
飾らずに—  
力まずに—  
書いてみよう”ひとこと”

この詩は、エッセイクラブ  
初代会長故高畑智さんが、  
エッセイ集「ひとこと」の初  
刊（平成8年発行）に寄せた  
詩である。  
「気楽に、飾らずに、力まず  
に」。この高畑さんの言葉  
は、ひとことの発刊から13年  
経過した今も、エッセイクラ  
ブのモットーとなっている。  
文章をつづるといって、難  
しいこと、面倒なことと思わ  
れがちだ。インターネットや  
携帯電話でのEメールが主流  
となった現代では、日常の中  
で、紙に向かってペンを走ら  
せる場面は、そうそうない。  
でも、書くことは決して難  
しいことではないし、その魅  
力もたくさんあるとエッセイ  
クラブ会員の堀畑和巳さんは  
言う。  
「文章を書くと言うことは、  
自分を表現することに通じま  
す。日常の、ちよつとした出  
来事を書き留めたり、ふと感  
じたことを、それこそ日記の  
ような気軽さでそのまま書く  
んです。絵を描く人は絵の中  
で、踊りを踊る人は踊りで自  
分自身を表現するように、わ  
たしたちは『エッセイ』とい  
う形で、自分自身を表現して

文章をつづることは「自己表現」することでもある  
気楽に、飾らず、力まずに書いてみよう

# エッセイクラブ

会長 馬淵昭次さん（上長尾） 会員22人

います。だから書き方も、書  
く内容も十人十色。わたした  
ちはプロの書き手ではないで  
すから、自分の好きなように  
書いているし、それでいいん  
です」。

このクラブが年2回発行し  
ているエッセイ集「ひとこと」  
を読むと、それが良く分かる。  
ある人は日常生活のひとつま  
を切り取っていたり、出会っ  
た人との思い出だったり、町  
の歴史を振り返っていたり、  
亡き友人にあてた手紙であつ  
たり。ある人がつづった闘病  
記などは、涙なくしては読め  
ないエッセイだった。そこに  
つづられているのは、その人  
のリアルな日常、リアルな人  
生。ノンフィクションの物語  
たちだ。

会員の一人山本久美子さん  
は平成11年に入会。「ひとこ  
と」への投稿を欠かさない。  
「思いついたことを、思った  
ままに書いていただけです。  
普段、頭の中では難しい言葉  
は使わないですし、難しい言  
葉がたくさん出てくる本は、  
わたしもきらいなんですよ。  
ふと空を見上げたときに、ど  
こかに行きたいなあと思えば、  
自然と言葉が浮かんできます。



会長の馬淵昭次さん

それをそのまま文章にしてい  
るだけなんです」とあくまで  
自然体だ。  
堀畑さんは「自分が書いた  
文章が活字となり、製本され  
て自分の元に返ってくる。作  
品として手元に置いておける  
それが何よりうれしいんです。  
また、ほかの会員の文章を読  
んで、感心することも多いで  
すね。刺激になるし、教わる  
ことも多い。『ひとこと』には、  
文章を書く楽しさと、読む楽  
しみ、保存する喜びがありま  
す」と、その魅力を語り出し  
たら止まらない。

「ひとこと」は、年2回、4  
月と9月に発行される。投稿  
は自由。テーマも自由だ。  
書く時間もさまざまだと会  
員たちは話す。  
「1時間で書き上げる人もい

心の動きをそのまま文章にす  
るのが基本。不必要に文章を  
飾り立てないことがエッセイ  
を書くときのポイントだ。  
堀畑さんは続ける。

「エッセイひとことを通して  
新たな友人ができます。文章  
を通して、知らない人と会話  
が生まれます。そんなところ  
も文章の、エッセイ集の魅力  
だと思います」。

第1号の発刊から13年、冊  
数は26冊に上る。  
クラブ初代会長が残した言葉  
気楽に—  
飾らずに—  
力まずに—

この精神は今も会員に受け  
継がれている。今日も、気軽  
に楽しく文章をつづる人たち  
がいる。

大切なのは「良い文章を書  
こうとしない」ことだと言う。  
馬淵昭次さんと筒井周治さん  
が口を揃える。

**【一緒に楽しむ仲間を募集】**  
エッセイクラブでは、会員を随時  
募集しています。年齢、地区、性  
別など一切問いません。どなたで  
も入会できます。わたしたちと一  
緒に活動してみたいという人は、  
ぜひご連絡ください。  
馬淵昭次 ☎ (56) 0041  
筒井周治 ☎ (56) 0824



ちゃっきり娘養成講座第2回  
参加者が夢の吊り橋を体験

1日目：畑作業 2日目：寸又峡ハイキング



寸又峡・夢の吊り橋を渡る参加者たち

ちゃっきり娘養成講座の第2回は5月30、31日の両日、地名の農林業センターと寸又峡温泉を会場に開かれました。

1日目の作業は、農林業センターでの畑管理。雑草取りと、前回の講座で種まきして発芽しなかった部分に再度種まきを施しました。

2日目は、自然（木、鳥、花など）に詳しい鈴木正文さん（梅高）を講師に迎えて、寸又峡プロムナードコースで自然を学びながらの散策。正文さんの説明を、参加者たちは興味深く聞きながらゆっくりと歩きました。

散策の後は、みんなお待ちかねの「温泉」へ。寸又峡温泉の光山荘でゆったり温泉につかり、散策の疲れを癒しました。

exchange

千年の学校第8期基礎講座第2回  
「神楽」の奥深さを学ぶ

会場：山村開発センター大会議室



真剣な表情で神楽について学ぶ学生たち

千年の学校基礎講座（文化）第2回は5月30日、山村開発センターで開催されました。今年10月、国民文化祭・神楽フェスティバルが本町で開かれるため、神楽について見識を深めたいと開かれた本講座。県文化財保存協会理事の常葉学園短期大学石川純一郎名誉教授を招き講演会を開催しました。「神楽の世界・カミのパフォーマンス」と題した講演では、駿河神楽の分布状況や個々の神楽の特長、他地域との相違点などを石川名誉教授が解説。学生たちは興味深げに聞き入り、きたる国民文化祭に思いをはせました。

講演の最後には、全国各地の神楽映像が上映され、舞の美しさを堪能しました。千年の学校では、本講座で学んだことを踏まえて、神楽フェスティバルで協力活動をする予定です。

rediscovery

真夏の渇水！作物を守る準備はお済みですか？  
スプリンクラー・点検などご検討の方、使用状況・環境に応じた設計・お見積もりいたします。  
まだ未購入の方へ、ホーチキの火災警報機を日立工機が販売・2個以上がお得価格で好評販売中！

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1  
I P電話 ☎050-3363-2252  
☎56-0006  
FAX56-0009

「絆」を実感した南麓祭

川根高等学校 生徒会副会長 長嶋歩

川根高校の「南麓祭・文化の部」は、6月第1週に開催されました。開催までの準備期間は、テーマを決めたり、宣伝広告、企画を練るなど大変でしたが、南麓祭が終わってしまっただけで、そんな日々が愛しくてたまりません。

わたしはステージ責任者という立場を与えられましたが、この仕事を引き受けるべきかとても悩みました。わたしは郷土芸能部の部長で、南麓祭の演奏を最後に、部活を引退します。ステージ責任者を受けると、まともに部活に参加できず、メンバーに迷惑をかけてしまうことが分かっていたので、生徒会をとるか部活をとるか、そんな質問をされている気がしていました。

わたしは悩んだ末にステージ責任者を引き受けました。部活には副部長を筆頭に、信頼できる仲間がたくさんいる。自分は与えられた仕事をきちんとこなし、別の方向から最高のステージをつくらう。そう心に決めて。

本年度は昨年度に比べステージ発表が多く、書類整理やリハーサル之苦労が数倍にも感じられました。期限を過ぎても書類が提出されなかったり、説明のために集合をかけるも来なかったりする団体がとても憎らしく思いました。

しかし、だんだんと形になっていくのが分かったり、精一杯練習している姿を目にしたりと、胸がわくわくしてそんなことはどうでもよくなり、応援したくなりました。

ほかにも、飲食関係や門のこと、生徒会企画など多くの仕事を抱え、開催直前には夜遅くまで作業する日々が続きました。連日の準備で疲労し、いやになることもありましたが、そんなときに聞こえてきたのが太鼓の音。仲間の頑張りが伝わってきて、自分も頑張ろうと思えました。

そして迎えた南麓祭初日。ステージ発表がメインの日です。今年には音響をセミプロの人たちに協力してもらい、わたしはその人たちと一緒に後ろの方で作業しました。そこからは全体を見ることができました。

あれから約1カ月。落ち着きを取り戻しつつある学校生活は、どことなく単調で、もう一度時間を巻き戻したい、あの場所で仲間たちと笑い合いたい、そんなことを考えてしまいます。しかしそれは叶わぬこと。わたしたちがこれからできることは、学校生活・学校行事を、悔いが残らぬよう満喫していくことです。

フレンドシップ（永遠の絆）  
この絆は確かに存在すると胸に刻み、川根高校を去る準備をしていこうと思います。



◀南麓祭での発表  
赤石太鼓の迫力ある演奏が  
体育館一杯に響いた

音が一つになる興奮を味わったと話す長嶋歩さん▶



column

3歳から、小・中・高校生までのパソコンスクール  
基礎から応用と、教科学習もベネッセのソフトで学ぶ

パソコンスクール アビバキッズ 本川根教室

TEL0547-59-3292

アビバキッズ

検索





## 豚肉のしょうが焼き

### 材 料 (4人分)

豚ロース	300g
しょうが	1片
しょうゆ	大さじ1
酒	大さじ1
油	小さじ1

### つくり方

- ①豚肉にしょうがのすりおろしと調味料で下味をつけ、10分ほどつけこむ。
- ②フライパンをあたたため油をしいて、豚肉を重ねないように広げて焼く。両面をしっかり焼いたらできあがり。



5月20日の教室の様子

[www.town.kawanehon.shizuoka.jp](http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp)

このほかにも、いろいろと

広報かわねほんちようでは間に合わない最新のお知らせや、紙面に掲載しきれない話題など、川根本町の「今」が満載の川根本町ホームページをご覧ください。

### ご結婚おめでとう

地区	氏名	前住所
久野脇	西原 伊佐人	久野脇
	長嶋 里佳	寺馬

### お悔やみ申し上げます

氏名	享年	地区	届出人
小長谷良夫	69	帳掛	常夫
川島 和子	74	坂京	政子
坂本 邦雄	71	藤川	永子
榊原 一郎	86	高郷	晃
勝山 嘉夫	91	下泉	久
吉川 嘉一	82	徳山	きの
長下 平一	73	徳山	守

- 戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。
- 前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けた分のみ掲載しています。

生活健康課 ☎ (56) 2222

family registration

### お便りありがとうございます 皆さんの声を紹介

▼いつも広報を楽しみにしています。中でも、家族の宝・本町の宝である1歳の赤ちゃんの可愛らしい笑顔のコーナーはとてもしみじみ。その子の、その時期しか見られない無邪気な表情、ふっくらした体つきなど、とても心が和みます。編集などの課題や制約もあるのですが、できればカラーで見たいです。せっかくなので、白黒でも構いません。いつか検討してみたいですね。

広報紙編集に熱い信念を持って取り組んでいる広報担当者さんに拍手を送ります！頑張れ！

匿名希望さん

▼いつも楽しく広報を拜見しています。毎月、たくさんの方を取り上げる特集記事は読みごたえがあつて、いつも元気をもらっています。担当の方には大変な苦労だと思いますが、今後ぜひ、頑張っている人をどんどん取り上げ面白い記事を期待しています。応援しています。

匿名希望さん

voice



西田康平くん

父：稔・母：豊美  
康ちゃん、いつも笑顔いっぱい、元気に育ってくれてありがとう！「こっへいが生まれてうれしい」と言って可愛がってくれるにいとと一緒に、ゆっくり成長して行ってね。

H20・6・10生 徳山



西郷優衣奈ちゃん

父：純一・母：優子  
まねっこが大好き。おしゃべりも大好き。活発なのはパパ似だね。キラキラの笑顔を、いつもありがとう☆

H20・6・5生 徳山



高畑心真希ちゃん

父：和弘・母：貴子  
あつという間の1年。こまちゃんがわが家にやってきてから、あなたのすべてが家族を笑顔にしてくれる。幸せな毎日ありがとう！

H20・6・22生 上長尾

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ！

birthday

### つれづれなるままに 編集後記

▼本号特集を組むため、何度もときどきの池へ通った。平日休日問わず通ううちに、気が付いたことがある。いつも「きれいな池だ。草は短く刈られ、桜の枝も剪定され、池の水もきれいだ。グラウンドゴルフ場の芝も刈り込まれている。その影に、どれだけ地域の努力があるのだろう。今まで何気なく通り過ぎていたが、改めてすごいと尊敬した。またホテルを見に掛けてみよう。

▼6月、広報に1本の電話が。「いつも編集ご苦労様。毎月回覧板が来るのが待ち遠しいんですよ。ほかの回覧物は、いつも何枚か取り忘れがあるのに、広報だけは絶対に忘れがない。それだけみんな楽しみにしてるし、読んでくれてるというところ。頑張ってください。ある女性は「わたしは広報のファン。毎月、必ず保存してあるんだよ」と言ってくれた。ある人からはメールが。「町外に出ているわたしの弟は、里帰りするたびに広報を読んでいるよ」と書いてあった。また別の人のメールでは、「今の広報は読みやすいし、担当者が頑張っているのが伝わってきて毎月読むのが楽しみ。これからも特集を続けてほしいし、担当者には頑張ってください」と書いてあった。川根高校の南麓祭で会った下嶋まどかさん。3年前に取材した女の子だ。「あれからずうっと広報を読んでいますよ。毎月内容が濃いですよ！」と言ってくれた。自宅には1通の手紙が来ていた。「広報がかわねほんちようは、わが町の誇り」の言葉に涙が止まらなかった。皆さん、本当にありがとうございます。皆さんの協力によって広報はつづられます。これからも、心を込めて町の物語をつづり続けます。

小笠原聡

afterword

## 眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。  
ご予約は電話にてお願いします。  
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

## 島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9  
島田駅から徒歩1分  
☎0547-37-0431  
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時  
(休診日：水曜、第2・第4日曜日、祝日)

緑のふるさと協力隊員・千葉遥加の奮闘記

# 風ノハルカ

Chiba Haruka volume1

皆さん初めまして^^

皆さん、こんにちは。千葉県柏市出身、緑のふるさと協力隊第16期生の千葉遥加18歳です。わたしはついこの間まで、千葉県松戸市立松戸高校に通う高校生でした。

わたしがなぜ、協力隊に応募しようと思ったか。実はこの高校時代に関連しています。わたしが在籍していた国際人文科。ここの先生に大きな影響を受けたのです。先生は日ごろから、「大学に行くだけが進路のすべてじゃない」と話していました。色々な世界に触れることが人生を豊かにする秘けつと教えてくれていたんです。そのころ見つけた協力隊の募集パンフ。わたしはこれを見て、半分勢いで応募しました。そしてほぼ直感で、まったく予備知識のない静岡県「川根本町」を希望しました。先生の言う「さまざまな経験」をするため、あえて知らない世界に飛び込んでみようと思ったんです。

4月13日、大井川鐵道に揺られ本町を訪れました。周りは山、川、茶畑。お茶の木を見たことのないわたしの目には、山肌に広がる茶畑が新鮮に映りました。わたしが住んでいた柏市とはまったく違う、新しい世界でした。

こちらに来て2カ月と少し。一番茶時期は山処苑さんにお世話になり、今は農林業センターでの農作業が活動の中心となっています。主にお茶のポット苗の土入れ作業や畑の草取り、自然薯畑の管理などを行っています。ポット苗は毎日どんどん増えていくし、自然薯の実物も見ただけではないし…。分からないことだらけですが、センターの皆さんにやさしく教えてもらいながら、畑で汗を流しています。

4月下旬には赤石太鼓保存会に入会し、太鼓の挑戦も始めました。ALTの先生たちや子どもたちと一緒に週1回の練習を楽しんでいます。ちょっとしたストレス解消にもなりますよ。

これから約9カ月間、町内のいろいろなところに出向いて、この町のことを知っていきたいと思います。皆さんのところにお邪魔することもあるかと思しますので、そのときは色々教えてください。

まだ自分が、ここで「何ができるのか？」は、正直よく分かりません。皆さんに教わりながら、自分にできることを探しながら、隊員活動を頑張っていきたいと思えます。皆さん、よろしくお願ひします。来年3月、自分がどのように変わっているか、今から楽しみです。

## 千葉遥加（ちばはるか）

千葉県柏市出身 緑のふるさと協力隊員第16期生

### 緑のふるさと協力隊とは

特定非営利活動法人地球緑化センターが実施する、農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣する事業。協力隊員たちは、農林畜産業など担い手が不足する第1次産業や、新しい刺激を求めている観光施設などで、隊員活動に励み、地域の活性化に貢献する。遥加さんは第16期生、川根本町3代目の隊員。

